

著作権侵害に関する Google の取り組み

ウェブの活用が広がることで、これまで以上に多くの音楽、映画、スポーツ、エンターテインメントを楽しみ、共有できるようになりました。その一方で、オンライン上での著作権侵害も深刻化しています。Google は、ネット上での著作権侵害に対抗するためのプログラム、ポリシー、テクノロジーを継続的に開発しています。Google の著作権保護に向けた取り組みを紹介します。

#1 必要なツールを著作権者に提供

Google は、業界のリーダーと協力し、次の三領域において、テクノロジーの会社がコンテンツクリエイターと著作権者を支援するための基準の確立に寄与しています。

【**検索**】 著作権者は、弊社のオンラインフォームを使用して著作権侵害の申し立てを行うことができます。これまでに、著作権を侵害した 30 億以上の URL を検索から完全に削除されており、さらに、平均して毎週 500 のサイトが降格の対象となっています。

【**Google Play**】 Google のポリシーは、著作権を侵害したり、違法なストリーミングを推奨したり、また、他のアプリになりすましてユーザーを欺こうとするアプリを禁止しています。さらに、クリエイターと著作権者は、権利を侵害する Google Play 上のコンテンツを Google に対し通知することもできます。上記の組み合わせは大きな成果を生んでおり、2017 年には 14,000 を超えるアイテムを Google Play ストアから削除しました。

【**YouTube**】 画期的な著作権管理ツールである Content ID は、著作権者により予めデータベースに登録されたコンテンツと、アップロードされたコンテンツを比較します。一致するコンテンツが見つかった場合、著作権者は、作品のコピーの追跡、収益化、もしくはブロックすることを選択できます。

#2 著作権侵害を不採算に

Google は広告収入を遮断することで、コンテンツ盗用による収益化の阻止に取り組んでいます。コンテンツの著作権侵害を理由に広告ネットワークから削除したドメイン数は、91,000 以上に上ります。また、削除したコンテンツの多くは積極的な審査プロセスにより特定され、広告収入が発生する前に削除されています。

#3 アクセスと機会の改善

コンテンツの配信や付近の映画館等、ユーザーが正規の手段でお気に入りのコンテンツを発見し、それらにアクセスできるように、Google は常に検索の改善に取り組んでいます。また、YouTube や Google Play ストアを通じ、世界 15 億人以上のユーザーに作品を配信し、コンテンツクリエイターと著作権者に収益化の機会を提供しています。

#4 防御力の強化

著作権者や業界団体と協力し、セキュリティの強化に加え、専任のエンジニアリングチームを設立し、Google ドライブを介した海賊版コンテンツのストリーミングを防止しています。このプロセスには、外部パートナーから提供されるデータが不可欠です。これらの対策の結果、問題のあるストリーミングは大幅に減少しました。

#5 クリエイターと著作権者の支援

著作権者は、Google 製品を活用することで、より多くの収益を生み出しています。

- 2014 年以降、開発者が Google Play を通じて得た毎年の収益 **70 億ドル以上**
- これまでに YouTube から音楽業界に支払われた額 **60 億ドル以上**
- 過去 5 年間に著作権者が Contents ID から得た収益 **30 億ドル以上**